



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol. 132
六甲山発郷土誌づくりの
歩み / 堂馬 英二
2017年10月発行

第132回テーマ 六甲山発郷土誌づくり の歩み

- 六甲山を活用する会の15年
- 六甲山発郷土誌づくり
- 六甲山発郷土誌を普及する



展示ルームに参加者集合

実施日：平成29年10月21日（土）
午前10時～15時00分
場所：六甲山自然保護センター、
記念碑台・散歩道



講師：堂馬 英二さんプロフィール

1947年生まれ、灘区在住。1970年静岡大学ヒマラヤ遠征隊に参加。71年農学部卒業、民間企業勤務を経て、75年ヒマラヤ技術協力会事務局長。76年から（株）リクルート専属教育トレーナー、91年（株）ワークスタイル研究所を設立。阪神大震災以降、六甲山の活性化に関わり、2003年六甲山を活用する会を設立。

台風前日、雨中の散策に24名が参加

台風21号が接近中の雨天で14℃、静岡大学山岳会一行11名など24名が、雨具を着けて午前中の自然散策をしました。まちっ子の森や、森と歴史の散歩道を探勝して、当会の環境活動を知っていただきました。午後のセミナーは最終回ということで久しぶりに参加される方も多く、42名もの盛況で、ざっくばらんな雰囲気でも賑わいました。

阪神大震災から地域に目を向けて20年

講師は阪神大震災後から六甲山に関心を向けて活動を続けています。20年近く保管していた冊子を数点、参加者に寄贈しました。震災3年後にコープこうべが発行した『いまここにある明日』で、「こうべ」らしさってなんだろうと題し、ハイカラ生活の追求からオリジナルな生活の創造を提起しました。

1999年から3回開催した六甲山上でのプチ・シンポジウムの報告書は、市民として初めて六甲山に目を向けた試みとして注目を集めました。これらが地域を知ろうとする原点になり、「市民セミナー」の運営や報告書の継続・発信につながっています。



震災記念誌

「市民セミナー」から「郷土誌」の発信へ

講演は岡さんの司会で進みました。まず「六甲山を活用する会」15年の概要です。会の趣旨や運営体制、活動地域、そして「市民セミナー」を軸にして派生した環境整備や環境学習など、六甲山上での活動は広がっています。

主題の「六甲山発郷土誌づくり」の冒頭で、地域を知る試みを始めた出発点を述べました。2000年前後に神戸地域ビジョン委員会でも県民行動プログラムの策定に関わっており、これが2003年の市民団体の設立につながりました。

リニューアルした兵庫県立六甲山自然保護センターの活用に取り組み、六甲山上で半日滞在する方策としたのが「六甲山魅力再発見市民セミナー」です。

初年度は関係者を講師にして6ヶ月の予定を立てただけでスタートしました。毎月第3土曜日、参加費500円、講師とテーマは一回限り、当月報告書発行、3年後に『六甲山物語』を出版すると掲げて、綱渡りに近い状態でした。講師探しや集客などで苦労しましたが、やがて多彩な講師が出演さ

れ、多岐にわたるテーマを集めて、4年目には『六甲山物語1』を発刊しました。活動が軌道に乗り、『六甲山物語2・3・4』や『六甲山辞典・総集編』CD-R版も発刊し、六甲山情報を集積しました。



『六甲山物語』1～4 発刊

9年目に100回を迎え、「市民セミナー」の終了を考え出した時、「六甲山発郷土誌」という言葉に出会いました。活動の意義を改めて認識し、さらに6年継続しました。

15年目の現在、『六甲山物語5』の発刊を機に、「市民セミナー」を継続するのは負担が大きいため、終了することにしました。蓄積した六甲山情報やノウハウを広める方向に転換します。まず、「市民セミナー」全132話を再整理し、4つのジャンルの「六甲山発郷土誌」マップを作成しました。市民が地域を知るためのフレームができたので、運営ノウハウや活用方法も加え、ネットで発信する準備を始めました。

六甲山を知る「手がかり」を広めたい

六甲山を広く深く知ろうとする「市民セミナー」の継続が、活用可能な産物を生じました。出席者は132回という運営や報告書の発行に感嘆されました。これからの正念場は、多様な講師の貴重な語りを生かし、多くの市民が地域を知り関心を高める「手がかり」として活用してもらうことです。また、新たなチャレンジを続けるという予感もしています。

詳しくは2ページをお読みください。

参加の感想 山端謙一郎さん

六甲山を活用する会を立ち上げて15年、市民セミナーを132回、報告書を毎回発行されていた事、すごい経験をされていたんだと感心させられました。世の中では継続は力なりと申しますがそれを実践されていた！



参加者の募集、講師の依頼等のノウハウも蓄積されていると思います。私も静岡大学山岳会関西支部として六甲山を楽しむ事ができました。会の皆様ありがとうございました。又会の隆盛を祈念致します。

【助成金をいただいている機関】順不同

大阪コミュニティ財団（東洋ゴムグループ環境保護基金）、
コープこうべ環境基金、セブン-イレブン記念財団、
GGG国立・国定公園支援事業

主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：神戸県民センター、灘区役所、神戸市教育委員会